

1982~'83



Governor's Monthly Letter

MAY 15
1983

12

ROTARY
INTERNATIONAL

TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT

266

人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World

1982~'83年度国際ロータリー会長 向 笠 広 次

国際ロータリー第266地区

ガバナー 戸 田 孝

ガバナー事務所

〒541 大阪市東区安土町2-12

トヤマビル南館5階

電話 大阪(06)261-2660

各クラブ会長並びに幹事殿

目 次	地区大会を終えて ガバナー 戸田 孝……………2~6	日韓親善会議に参加して ガバナー 戸田 孝……………10~13
	地区青少年交換委員会報告……………6	1984~'85財団奨学生……………13
	I.G.F. 予定表・公式訪問日程表……………7	地区年次大会・日韓親善会議アルバム……………14
	年次大会決議……………8~9	地区だより……………15
	地区協議会開催予定……………9	1983年4月出席報告……………16



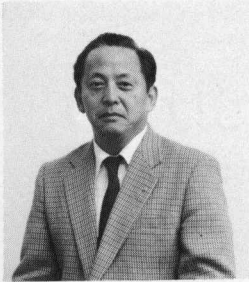
第266地区年次大会 戸田G.の挨拶 1983.4.15 大阪厚生年金会館

地区大会を終えて

ガバナー 戸田 孝

SAIL ON! SAIL ON! NO STOPS. *Keigo Higashi*

(東ヶ崎元R.I.会長)



§ 皆様に心からお礼を

4月14・15・16日に1982～83年度の地区大会を盛会のうちに終了し得たことに、先づ心

よりお礼申し上げます。

地区ガバナーの重要な仕事である地区大会を皆さんと共に盛り上げて、心に残るものにしたとの念願は当初から持っていました。しかし、70余名の八尾R.C.のホストで果して可能だろうか？地区分割後52クラブ3,600名に減少した状況でどうすれば、地区ロータリアンの満足を得られるだろうか？どうすれば多くのロータリアンとご家族とが参加して戴けるだろうか？楽しみながら有益な大会とするには、どうすれば良いだろうか？皆さんに満足して戴けるプログラムは？多くのご来賓への心くばりは？会場の設営は？安全の対策は？交通の問題は？そして、予算の関係は？

この2年に及ぶ準備期間は実に長いものでした。が、今年の1月を過ぎる頃から急に多忙さを増し、あつという間に当日がやって参りました。

雨模様の3日間でありましたが、2,606名(70.5%)という驚異的な登録数と、筆舌に尽くせぬ皆様の友情に支えられて、盛況裡に開催し得たことは私ども一生忘れ得ぬ感激でありました。

当地区各R.C.の皆様、ホスト・コホストの

皆様、ご声援戴きました全ての方々に、衷心より深く感謝申し上げます。特に、2年間に亘り細部に及ぶご指導とご教導を賜りました原田元R.I.理事に、心より厚くお礼を申し上げます。有難うございました。

§ R.I.会長代理杉野先生・ご令室様に深甚なる感謝を

元R.I.理事原田先生と同期のガバナーとして深い識見を持たれ、ロータリーへの大きいご奉仕を続けられ、多くの人々の敬愛的である杉野先生が今年度地区大会のR.I.会長代理としてご臨席戴いたことは、真に嬉しいことでありました。

旧制堺中、大阪高等学校、京都大学を経られ、多くの友人を当地区にも持たれ、ご令室様も和歌山県ご出身で樟蔭女専に学ばれたという、当地区に特にご縁の深い方であり、杉野先生が国際ロータリー会長代理として故郷へお帰りというところで、当第266地区及び第264地区のバスターガバナーの慶びと感謝、又多くの友人ロータリアンの熱烈な歓迎を受けられました。大会までの数度に亘る打合せを通じて、有難いご指導と気さくな暖かいお気くばりを戴いたことは、何よりの幸せでありました。杉野先生の温厚なお人柄は万人の知るところであります。向笠R.I.会長から「私の代理として、あなたの地区へ実に良い方に行って戴けることになって、良かったです」と私にお声を掛けられたことは、忘れることは出来ません。又、一昨年(第268地区大会)に於いて、平島P.G.はそのスピーチで

杉野P.G.のお言葉を引用して「ロータリーの奉仕とは、化学作用における触媒のようにありたい。そのもの自体は小さくても、大きく伝播して何倍・何十倍・何百倍にも広がってゆくようなものでありたい。」と結ばれたことが、私の心に今も印象深く刻み込まれています。暖かく静かな中に、ロータリーの奉仕について人々の心を動かさしめる先生の信念が、当地区大会を斯くも輝かしいものにしたとの実感を強く感じます。当地区内の全ロータリアンを代表して、深甚なる感謝を捧げたいと存じます。

§ 長谷川大会委員長の一日も早いご平癒を

この大会推進に最も心血を注がれ、2年に及ぶ長い準備期間中、未経験の大会運営に於て地区内全ロータリアンに満足して戴く為に凡ゆるご努力を尽くされた委員長の不断のご奉仕には、唯々頭が下がるばかりです。

長谷川委員長は企業を上場会社に育てられ八尾商工会議所副会頭を永年務められた指導力と暖かいお人柄は、当地区の伝統ある年次大会の委員長として最適の方ではありますが、過労のため入院加療されました。しかし、ご平癒も近いことでもあり、一日も早くお元気になって戴けることを念願して止みません。

残された仕事のご指導を切にお願い致し、長期間にわたる数々のご奉仕に、深く感謝致します。

§ “He Profits Most Who Serves Best”

「最も奉仕するものは、最も報われる」とは、当大会で随所に見ることが出来ました。

この大会を盛り上げて、皆さんに満足して戴ける大会にしようと努力した関係者の奉仕は、偉大なものであり、従って報われるところも大きいものがあったと思います。

§ 国際大会並みのご来賓が

東ヶ崎元R.I.会長、湯浅元R.I.副会長とご家族、原田元R.I.理事ご夫妻、菅野R.I.理事ノミニー、国際協議会リーダー蔵並P.G.、同今井P.G.、岡本G.、堀場G.、岩堀G.そして藤

沢G.、更にホクソンP.G.(比島)ほか多数のご来賓の祝福を戴きました。(ご来賓55名)

又、タスマニアよりのG.S.E.チームに暖かい歓迎パーティを市長公邸で開かれ、親しくホストして戴いた大島靖大阪市長へのお礼を地区大会の席上、皆さんの前で申し上げ得たのも大変な光栄でありました。

§ 友、遠方より来たる

フィリピン・バコロドR.C.よりホクソンP.G.ほか8名のロータリアン、越中八尾R.C.より25名の懐かしい友人、その他多数のロータリアンの出席を得ました。

§ R.I.会長歓迎晩餐会にフィリピンダンス

フィリピン政府から派遣された舞踊団が、東京で各国大使夫人の晩餐会公演を終えて来阪し、各界の指導者へフィリピンを知って戴きたいとの意向に依って、友情出演されました。選り優れた上品で美しい子女による本場の華麗な舞踊は、来賓と各R.C.の会長・幹事から絶大な讃辞を戴きました。1984年11月にマニラで開催されるアジア地域大会の盛会を願う前夜祭ともなり、日本の委員伊藤P.G.にご協力を誓う催しともなりました。

§ 太平洋の出会い——東と西

永井道雄元文部大臣から極めて有益なお話を聞きました。

21世紀はアジアの時代、日・韓・台……が協調して良い世界をつくる取組みの中での、大阪を中心とした西日本の役割は大きく、特に世界的な組織を持つロータリーの善意の組織が、大阪を中心として意欲的に活動されん事を……など意義深い講演でした。「ロータリーの友」川崎編集長は、この要旨を「友」に掲載したいと言っておられました。

§ 「ロータリーのこころ」で新鮮な認識が

シンポジウムには、モデレーターに種田P.G.、パネリストに他地区のエキスパートの方々にお祈いしました。京都の堀場G.は、特に多忙な現ガバナーで、地区大会を一週間前に済まされたお疲れを克服されてのご奉仕で

感謝の極みです。そのバイタリティとご識見は、全参加者に大きい感銘を与えて下さいました。今井P.G.は、国際協議会でのリーダーとして私達をご教導を戴き、今年度もボカ・ラトーンへ指導に行かれる方で、豊かなお人柄と知性と指導力の持主でもあり、奉仕の幅広い実践者として、私達を常にリードして戴いています。酒井I.P.G.・大久保I.P.G.は直前ガバナーとして、豊富なご経験と新しいご見識とを併せ持たれ、若々しくご活躍中のロータリーのニューリーダーであります。笠岡P.G.が熊本から遥々ご来阪賜りましたご好意には唯々感謝申し上げます。これだけの方々のご参加と、種田I.P.G.のご熱心なご計画によるシンポジウムで、参加全ロータリアンに今後のロータリーのあるべき姿、その基本となる「ロータリーの心」を、各部門にわたってお示し戴きましたことは実に大なる収穫となりました。

重ねて、皆様にお礼申し上げます。

§ 家族の集い

ホテル日航大阪スカイラウンジに会場を移して、先づ「染と織の話—河内木綿と紅型」と題して、帝国女子大辻合喜代太郎博士の講演が行われた。古くから河内地方で伝承され、河内の特産でもあった木綿に関し、実物展示と解説がなされ、特に藍型染布と琉球に育った華麗な紅型との実物衣裳を提示して、その両者の発生契機の背後にある諸問題—文化・政治・宗教—に就いて非常に興味深い講演で、聴衆者に多くの感銘を与え、頗る好評でした。

次いで、関西落語界の重鎮桂米朝師匠の洗練された話術に、爆笑また哄笑の渦が巻き、素晴らしく楽しい一ときを過しました。

ご出講戴きました辻合博士並びにご出演の桂米朝師に、感謝致します。

§ 余興こぼれ話

越中八尾(ヤツオ)R.C.会員の暖かい友情で、富山県から「越中おわら節」の皆さんが

遠路、地区大会のために来られました。

民謡日本一に輝き、静かな中に日本人の心を捉える歌と踊は流石に素晴らしく、大谷P.G.をはじめ富山出身の方々が、望郷の涙を流されたとか。又、「河内音頭」は安積先生の創作により、古典より超近代風にまでアレンジされて、若き溢れるバレエ団によってユニークな演出を表現されたことは、ロータリーの奉仕の活性化への勇気づけになったことでありましょう。今大会のために練習を重ねられた本邦初公演の「河内音頭」のご出演の皆様に、深く感謝致します。

「芹洋子ショー」が第264地区と同企画であったので、些か懸念致しましたが、明るく上品な雰囲気は参加者の皆様のご好評を得て非常な喜びでした。

「四季の歌」で会場内の合唱が始まって盛り上がり、大阪R.C.木村ソングリーダー指揮の「かぎりなき道ロータリー」で第一日目の幕が降りました。

§ 希望晩餐会で青春の気を

「信念と希望に溢れ、勇気に満ちて、日に新たな活動を続ける限り、青春は永遠にその人のものである」という言葉は、ロータリアンにピッタリあてはまります。東ヶ崎潔元R.I.会長をはじめ、今宵臨席のロータリアン・ご家族の皆様、大いに我が青春を謳歌しましょう!!で始った希望晩餐会は、ディナーショウ形式で430名の参加者が最高に若返った楽しいものでした。デュークエイセスの愉快な歌は、遂に私を舞台に引き上げ「ガバナーデュークジョイント・コンサートショウ」に発展したこと、ガバナーがソングリーダーで「手に手つないで」の大合唱が展開されたことなど、私にとって生涯忘れ得ない晩餐会となりました。

§ 舞台上に整列した表彰者

大会第2日開幕でアッと驚かれた方々がいました。馬蹄型に整列したクラブ会長や代表者の面々があったからです。

杉野 R.I. 会長代理より授与された、R.I. の「意義ある業績賞」に輝く豊中南 R.C. 原野会長の晴々とした姿に続き、東ヶ崎 R.I. 財団管理委員・湯浅米山記念財団理事長より直接に手渡された関係表彰者の方々の感激はひとしおであったと思います。「青少年交換エッセイ優秀賞」を私より遥かに背の高い外人高校生に手渡した時の暖かい拍手、大阪阪南 R.C. 提唱の四天王寺学園 I.A.C. の女子学生の初々しい顔も忘れることが出来ません。時間の都合で青少年紹介を舞台上で行えなかったことが残念ですが、多くの若い人々が元氣よく紹介に伝えてくれたことが印象的です。

§ 相愛オーケストラの妙なる旋律にのって

大阪住吉 R.C. の森川元大阪市立大学学長が相愛学園の学長に就任されたことを承り、地区大会での記念演奏をお願いしました。日本有数のオーケストラで、遠く沖縄での演奏活動などで文化交流の実を挙げておられます。万雷の拍手に応えられて、アンコール演奏もあり、妙なる旋律が参加者を魅了しました。

§ 「共に生きる一生きるとは分ちあうこと」

岩村昇先生

ロータリーの第 1 回世界平和賞を受賞されサンパウロの国際大会で感動的なスピーチで全世界より集まった 2 万人に感激を与え、マザーテレサと固い握手をされたことは、未だ記憶に新しいことですが、その感激を当地区大会の最後に再現して戴いたのは、此の上もない大きな喜びと感銘を受けました。

広島で原爆に遭われた先生は、少し無理をされた翌朝には血尿が出る状態が続いていると承っています。「私は皆さんより早く天国へ参ることになるでしょうが、その短い年月をアジアの草の根の人達の幸福の為に、尽してゆきたいと思います。私は 20 年間のネパールでの医療奉仕によって、却って多く教えられました。3 日ばかりで 3 つの山を越えて、診療所へ老婆を背負って運んでくれた若い人夫が、私の差出したお礼を押し返して、私に

は神から与えられた若さがあります。当然のことをしたまでです。お礼を貰う為にした事ではありません、と憤然と立ち去ったのですが、その若者の背から私は貴重なものを学びました。私は多くのロータリアン、日本の善意の人々に支えられ、PHD 運動も軌道にのり、財団の設立も出来ました。既に東南アジアの青年が、日本へ実地研修に来ています。私はロータリアンである住吉先生に教えて戴いた古切手を収集して、東南アジアの結核予防の B.C.G. 購入に役立てたいとの呼び掛けを続けています。そして各 R.C. より多数の参加を戴いています。あなたのポケットにある 1 割の浄財を、アジアの草の根の人達にお分け戴きたいのです。食べる物がなくて死んで行く人が如何に多いか、医療が無くて死ぬ幼児が如何に多いか。生きる為には分ち合わねばならないこと、それに依って『共に生きる』という世界平和の基本的で、最も大切なことが生れてくると思うのです。私の知っているネパール語を申し上げます。

サンガイ ジウネ コラギ(共に生きる為に)

§ 謝辞

私が若くして R.C. に入会した時、感銘を受けた話があります。戦争でうちひしがれた山の上の教会に、或る 1 人がランプを持って信仰の小さな灯を点した。山の下にある村からは、暗い教会に一灯が点されたのが見えました。あゝ、私達の教会があるのだと気がつきました。そして皆が、一灯づつを持って山上に集まりました。その集まった灯は、明るく輝き、信仰の中心が蘇ったということです。

即ち、1 灯は小さくとも人に感動を与える灯は、やがて多くの共感を得て、大きい輝きになるという話です。

私は此の度の地区大会を通じて、数多くの感動を受けました。人々の善意の奉仕、ロータリーの盛り上りと共感、友情の実感、永井先生の講演、「ロータリーの心」、「青春の謳歌」、「奉仕の実績表彰」、音楽、そして

最後に岩村先生の「共に生きる」と私達の心に生涯刻み込まれるであろう素晴らしい話がありました。岩村先生の点されたネパールでの奉仕の灯は、多くのロータリアン・R.C.の参加を得て、大きく広がるものと確信致しております。私は、或る感動を得た時に、ロータリアンの目覚めが奉仕への積極的な活動となることを多く知っております。この地区大会が皆様にある感動を与え、奉仕への動機づけになることを念願し、皆様のご健勝を心から祈りつゝ、お礼の言葉と致します。サンガイ ジウネ コラギ(共に生きる為に)であります。

§ 嬉しいこと

地区大会の大成功おめでとう、と多くの方々から握手をされることは、嬉しいことでありました。凡ゆる面で支えて下さった方々の

友情は、実に有難く嬉しいものでした。4月18日(月)の朝一番に、電話が掛ってきました。私の尊敬するロータリアンからです。「地区大会の大成功おめでとう。私は、岩村先生のお話を聞いて本当に感激しました。あの尊い奉仕の話に触れて、献金をしたいという気持ちになりました。岩村先生のご住所をお知らせ戴きたい」ということでした。私は本当に嬉しく感じました。この地区大会会場では、R.A.C.・I.A.C.の多くの青少年達や、多くのご家族も感激を共にして下さいました。地区大会終了の日から、私宛に配達された封筒の切手が、鋏で切り取られているのを見ました。

恐らく、多くのご家庭でB.C.G.への古切手によるご協力が、行われるのではないのでしょうか。

新しい日本の朝を見る心境です。

地区青少年交換委員会報告

青少年交換委員会

委員長 辻中 昭一 (大阪梅田)

1983年4月26日(火)午後4時～5時30分、ガバナー事務所にて、第6回青少年交換委員会を開催。出席者：戸田ガバナー・菅生バスターガバナー・世戸ガバナーノミニー・橋本、木川、永野、辻中の各委員、計7名。

① 報告事項 イ. 現在勉学中の5名の米国人学生及び帰米した1名の近況が報告され日本語学校における勉強態度、及び受入れ高校における学校側の態勢などにつき語り合った。ロ、米国より1983年3月29日帰国した飯田正美さん(大阪北R.C.がスポンサー)・坂本久美さん(大阪東淀R.C.がスポンサー)の2人は、それぞれ素晴らしい成果を挙げて帰国したこと、現在米国に留学中の4名がそれぞれよく活躍している様子が報告された。

② 協議事項 イ. 本年8月19日及び20日来日するゼームスR.ステマン君、リサA.ウェデルさん、アンドレアE.マイクルバストさ

ん、エミィD.リーさん、B.アンドルーⅢフーパー君、W.シーンプレクト君の6名のホスト・ロータリークラブ、引受け高校などにつき協議。最終的に決定した事柄は、今後のガバナー月信に発表される予定。ロ、フランスより来日する学生アグネM.N.プロソレさんは、4月29日に到着。箕面中央R.C.がホスト役を引受ける。ハ、米国及びフランスに留学するものの中、既に3月26日森川千彰(ちあき)さん、辻野美法(みほ)さんの2人が米国ミネソタ州に出発、野口恵子さんは3月30日フランスに出発、更に本年8月に米国テキサス州に留学する平井久代さん及び米国に派遣予定の3名、計7名につき協議。二、米国を短期(約1ヶ月)訪問するもの、今年の夏ケンタッキー州及びテキサス州を訪問する者若干名につき協議。第264地区よりもこれに参加。ホ、帰国学生歓迎・送別会を、来る6月30日(木)午後5時～7時に新阪急ホテルにて開催の予定です。

これについては各ロータリークラブに案内状が送られる。是非、参加して下さい。